犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和4年度実績)

事業の実施方針及び成果指標			進捗状況	/## +** / rナッシャトかへ
項目0(必須業務・重点課題) 項目1(業務タイ		項目3(事業項目)	(青:実施中or実施済 黄:準備中 桃:未実施)	備考(実績等)
市民活動支援の段階① ● 「協働プラザ」業務i 団体支援で、成果を出せる団体		定期的な運営会議を開催	毎月第1(金)	コンソーシアム内での会議
を増やす	協働プラザミーティング	行政担当との定期的な打ち合わせを開催	プラザMTG:毎月第2休。プラザMTGmini:プラザMTG実施週を除き毎週	
	事業ミーティング	各事業からの相談・マッチング案件の共有・提案・進捗確認	毎月第3(金)	コンソーシアム内での会議
	事務局ミーティング	1か月ごとの集計、事業・成果指標達成状況確認、予算管理等	毎月第4(金)	コンソーシアム内での会議
	市協力事業	協働プラザを会場とした催事開催協力等	市民活動助成金中間交流会、フロイデまつりの実施	その他附属機関への出席等
	・来所者対応	施設全体統括、各スタッフのマネジメント、市との調整等	事務局ミーティングで共有・調整	
	・相談対応 ・受付管理	会計管理	会計事務・コインベンダー管理等	
	・イベント管理・施設利用管理・職員勤怠管理	来所者の受付対応業務(施設・機器の利用、相談対応)	コロナ対策継続中。R3年度よりワクチン接種会場としても活用	来場者: 累計5,002名 —日平均16.24名 (R4成果指標)来場者数: 8,000名 ※R3実績: 4,843名
	•報告書作成	団体の交流促進関連イベントの開催等	コロナの影響もあり、イベント企画は見送り 協働プラザの掲示スペースにおいて、市民活動団体等の活動写真やPR内容などを掲示 し、他団体の活動を知る・繋がる機会となるよう紹介	(主な活動掲示団体) ・尾張輝虹会スターレインボー:3回 ・いぬやまe-コミュニティネットワーク:6回 ・名古屋経済大学:年間
		受付・相談員・各事業スタッフのバックヤード業務 運用に関する進捗、報告、相談事などをグループウェアで共有	進捗管理を行うアプリケーションを構築し、運用中(サイボウズ)	
	外部・他団体との連携協力体制	 ・市との連携 ・福祉、子育て、教育、生涯学習等の活動団体との連携 ・他市町での活動団体との情報共有 ・外部情報発信媒体との連携 	対応内容は事業ミーティングで共有、運営会議で報告し、具体的なイベント等へ発展する場合は企画書を作成 必要に応じて地域協働課と連絡・相談 アウトリーチ等から交流や連携を希望する声を拾い、情報交換の場を企画する。	(主な事例) ・名古屋経済大学祭にて展示協力 ・CCNETにて、「わんまる一むでつながろう」というコーナーで毎月市民活動団体を紹介 ・他市のセンター等視察受け入れ(長久手市、県市民活動支援センター情報交換会)
	利用者の意見徴収・評価	施設利用促進(常時、定期的な徴収・評価・改善)を目的とした、意見 箱の設置、定期的なモニタリングや、年1回の利用者ダイレクトモニタ リング	意見箱の設置継続中	来場者アンケートの実施(10月~3月 回答25件 約90%が満足と回答) (R4成果指標)利用者満足度:80%以上
	相談・助言・団体の業務支援	相談・助言業務(専門的、具体的な個別対応の支援)	固定の相談日は設けず、予約受付して実施中 相談できる内容を相談事例とともに記載してPR	相談 · 助言件数: 101件 (R4成果指標)相談件数: 80件 ※R3実績: 128件
		団体の業務支援関連イベントの開催 各種支援(立上げ、事務局、広報、会計、書類作成等)	気軽に相談できる場所としての周知を狙い、相談テーマをカテゴリー分けして行う「ジムジム相談会」を継続実施	開催数:8回、参加者:33名 ※R3実績 8回、16名
			助成金の制度概要を説明する助成金トライ説明会を実施 助成金を活用する団体へのサポート	団体への助成金の情報提供や個別の相談、ジムジム相談会などの支援
	情報発信 ①メルマガ・SNS ②WEBサイト ③広報誌	①情報発信:メルマガ・SNS通知 メールマガジン、公式LINEアカウント、Facebook、Twitter等を活用	公式LINE、Twitter、Facebook、Instagramで、毎月開催事業の告知や報告等を発信中	公式LINE登録:107名、Twitterフォロワー:203名、 Facebookフォロワー:403名、 Instagramフォロワー:(プラザ)384名、(つなフェス)392名
	④その他	②情報発信:協働プラザサイト ※Wordpress運用	R2年度にWEBサイトを構築し、随時更新しながら運用中	閲覧件数:6,180件 (R4成果指標)Webの閲覧件数:10,000件 ※R3実績:5,246件
		③情報発信:広報誌 毎号編集会議を行い、年4回発行:6月/9月/12月/3月	A3両面カラーで、夏・秋・冬・春号を発行	夏・春:各1,300部発行 秋:1,000部発行 冬:700部発行
●自主事業A (毎年申請)	請) 協働プラザシンポジウム	・未来イメージを共有して、市民活動団体の連携強化 ・先進的な事例や社会学的な視点からの情報発信 ・地域の問題点の洗い出し、課題抽出、対応策	過去2年コロナの影響でオンライン開催だったが、今年度初めて2月4日(土)にリアルで開催した。 開催した。 市内の活動者が既にある地域資源をどのように活用し、連携協働できるかを考え、活動に活かすことを目的に、第1部に基調講演、第2部にパネルディスカッション、第3部は参加者同士の交流会を実施した。	※R3実績:Zoomウェビナー38名(YouTube閲覧 289回)
●自主事業C(毎年申記	請) 協働プラザマルシェ&シェア (地域資源バンクPRとしても)	・市民活動団体、地域の活動者、社会貢献企業等の交流、連携 ・活動紹介の場、ポスターセッション、体験ブース等 ・団体が扱う商品の物販、出張イベントのPR、スペースや体験、スキルや資金などシェア可能な活動PR 等	「いぬやま地域つながるフェス」を11月12日(土)~20(日)の9日間開催協働プラザで、市内で同日開催されるイベント等を募り、「いぬやま地域つながるフェス」と題して、SNSを中心とした広報支援を行うことで、活動者間の交流や連携、地域活動の促進を目指す協働プラザは広報支援をメインとし、実際のイベントを行う会場は協力団体や事業者が運営を行う今年度は企業からの協賛も募り、チラシ裏面に掲載した。	※R3実績:11団体(4会場で実施、2会場はオンライン開催)
	<u> </u>	● 「		A00000

相談・連携案件の事例

○団体と地域事業者との連携

プログラミング教室BINGOより、ココトモファームをマインクラフトで制作したいとの相談。依頼状の助言を行った後、ココトモファームと繋ぎ、店内の写真撮影に協力してもらった。その写真を基に、マインクラフトでココトモファームを作成中。完成後には、店舗前のサイネージ広告で紹介される予定。

○<u>助成金会計支援</u>

学習支援の活動を始めて数年のスクールスマイルサポーターズより、複数の助成金を獲得しており、それぞれの報告の仕方について相談。それぞれの対象期間が異なることから、領収書の整理の仕方、保管方法等について助言。また、クラウドを活用した会員間での情報共有についてもアドバイスを行った。

○<u>マッチング支援</u>

町内会の秋祭りに、出張して演奏等ができるグループを探しているとの相談。いくつかの音楽活動団体 を紹介し、雅楽の普及活動を行う「犬山雅楽会」と繋いだ。





▲協働プラザシンポジウムの様子







▲いぬやま地域つながるフェス当日の様子

犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和4年度実績)

事業の実施方針及び成果指標			進捗状況	供孝(字建於)	
項目0 (必須業務・重点課題)	項目1(業務タイトル)	項目2(事業内容)	項目3(事業項目)	(青:実施中or実施済 黄:準備中 桃:未実施)	備考(実績等)
まちづくりのプレイヤーを増やす"地域資源の発掘活用、活躍の場づくり"	●犬山市地域資源バンク	・市民活動登録団体情報のデータベース化 ・地域資源バンク登録情報のデータ ベース化	団体情報管理、共有業務 ・データベース化計画 ・データベース入力業務 ・ヒアリング・ニーズ情報をスタッフ間で共有	新規登録を随時受けつつ、Webサイトを運用中 既存の地域資源バンク登録者の情報を更新し、webサイトの構成内容の見直しも実施 アウトリーチ活動に合わせて、地域資源の発掘も進めている	①新規登録件数:67件②マッチング件数:18件(R4成果指標)①50件 ※R3実績:31件、②22件 ※R3実績:24件(マッチング事例)二十歳の集いで使うスクリーンを3セット探しており、地域資源バンク登録のあるこどもサポートクラブ東海に繋げた。
	●犬山市地域資源バンク 自主事業D (毎年申請)	シェアエコサイトの運営	シェアエコサイトの運用設計、サイト企画制作	シェアエコサイトのマニュアル作成及びサイトの運用管理や支払い管理についての検討を行った。	
			シェアエコサイトへの情報登録移行・確認作業	シェアエコサイト登録候補者をピックアップし、アプローチ	地域資源バンク登録者の中から、いぬやまでばんにマッチする登録者への声掛け、登録 のための伴走支援を実施。
			登録説明会/定期開催(登録方法、メニューの作り方等)	資源の活用方法やサイト利用の流れを体験できる「いぬやまでばん活用説明会」を3回に分けて実施。 説明会を事業紹介の入口とし、個別相談や案件登録サポートに繋げた。	参加者:6名
			個別説明・登録支援/受付対応		相談者が自分の持つスキルを言語化・企画化できない場合には、協働プラザが代行して 実施 (有料)。
			シェア活動者育成のための研修	活動したい内容のヒアリングを行い、具体的な提供内容の概要を作成し、実践的に提供 内容の文章を作成するオンライン講座(初回のみ対面)。参加料20,000円。 講師:一般社団法人シェアリングエコノミー協会 加藤こういち氏、糸原絵里香氏	①オリエンテーション交流会(対面)②コンセプト設計③WEB販売戦略④サービス提供マナー⑤取引における安心安全⑥ステップアップ講座⑦成果発表会
	●フューチャーセッション@犬山	舞台に何かやってみたいメンバーが自	企画、仲間集め、場づくり、進行、運営サポート等のチャレンジを通	最終回の拡大版のみ実行委員型式とし、1年間の参加者から募集して企画運営を行った。	開催回数:7回、①延べ参加者数:122名 ②新規参加者数:57名 (R4成果指標)①160名 ※R3実績:135名、②60名 ※R3実績:68名 【テーマ(開催場所)】 ①②ハチカフェ犬山に集まれ! (ハチカフェ犬山) ③④社会人おじゃまします(名古屋経済大学) ⑤⑥焚火を囲んで語ろう(夢発心 アウトドアフィールド) 拡大版 もちよりひろーば〜みんなの楽屋トーク〜(協働プラザ 交流スペース) ※R3開催実績:8回
			フューチャーアクト@犬山(自主事業/毎年申請) セッションの中で生まれたアイデア提案者に対して、プラザより支援 を行っていく(支援を行う上で、バンク・センター登録、必要に応じ市 民活動団体登録を紹介)		サポートした事業 (事業) ・ありがとうプロジェクト (「感謝してもらうこと」のポイントと物を交換できるマルシェブースの出店) ・学生ボランティア向けのオンラインネットワーク「つむぐ」 (SNSを活用した学生や若者向けのボランティア情報の発信) ・ロスフラワーを使ったワークショップ (廃棄される花を再利用したメッセージカード等を作成するワークショップの開催) ※R3実績:3事業に対して支援を実施。



▲犬山地域資源シェアエコサイト「いぬやまでばん」

(地域資源バンク)マッチング事例





古民家の活用支援

城下町で事務所を借りたいという相談を受け、城下町にある古民家「嶌や 犬山」を地域コミュニティや地域の交流拠点として活用してもらえる人を探していたFS@犬山の参加者を紹介した。それぞれの思いや考えをすり合わせていく中で、お互いの活動に関心を持ち、マッチングが成立した。

話し合いの結果、嶌やの2階を事務所として利用することになった。また、1階のスペースで活動する学習室で講師を務めるなど、連携が広がることとなった。

主な支援内容:過去の相談者とのマッチング、顔合わせの場の提供

犬山市協働プラザ事業 進捗状況表(令和4年度実績)

事業の実施方針及び成果指標			進捗状況		(## ## / r#z v## /**)
項目0 (必須業務・重点課題)	項目1(業務タイトル)	項目2(事業内容)	項目3(事業項目)	(青:実施中or実施済 黄:準備中 桃:未実施)	備考(実績等)
市民活動支援の段階③ 地域の課題を解決する事業をつ くる	●市民活動支援センター	のヒアリングを行う ・アウトリーチ活動担当者のコーディネート力育成 ・未登録団体への登録促進(登録メ	ロジックモデルに基づき、事業の実施 活動団体を増やすため、団体登録の促進	ロジックモデル、成果指標の進捗状況を事業ミーティングで随時確認 取材を行った取り組みを事例集としてまとめ、シンポジウムで配布	①市民活動団体の新規登録件数:7件 ②市民交流センター登録団体の新規登録件数:7件 (R4成果指標)①5件 ※R3実績:4件、②20件 ※R3実績:11件
		リットの説明・相談対応)、登録件数増へ	アウトリーチ活動	アウトリーチ活動計画に基づき、市内各所へ出向き、資源情報などを含め、情報収集を実施	訪問件数:30件 (主な訪問先) 各地区協議体、コミュニティ、市民活動団体など ※R3実績:34件
	●自主事業B(毎年申請)	まちづくり高度人材育成研修会	①市民活動促進 活動の創り方、ネットワーキング、継続性 ②社会的起業家育成 他市町の事例、市内の社会ニーズ調査、事業計画作成、組織形成 ③社会事業創出 社会事業マネジメント、事業運営、資金計画、組織拡大	①社会活動の立上げと持続可能な運営を学ぶ講座「スタートアップの組織づくり編」 対面開催。全3回。参加料1,000円 講師:協働プラザスタッフ	開催回数:3回、延べ参加者数:9名 【テーマ】 ①小さな組織だからこそ知っておきたい活動立上げの"キホンのキ" ②"キホンのキ"で団体・グループの理念、目的、事業を考える ③"キホンのキ"で団体、グループの立上げ運営計画を立てる
				②社会活動の立上げと持続可能な運営を学ぶ講座「自立自走の組織づくり・ソーシャルビジネス編」 オンライン開催。全3回。参加料2,000円 講師:松浦 孝英さん	開催回数:3回、延べ参加者数:24名 【テーマ】 ①社会的課題の解決とは、事業創造モデルとは(マーケットイン、プロダクトアウト) ②持続可能な財政規模、事業計画の作り方 ③人材育成モデルと組織運用、まとめ
			障害者活用支援(データ入力・発送等軽作業、イベント準備等)	データ入力や封詰め発送作業等で、ボリュームが大きく事務スタッフでの対応が難しい場合、地球子ども村等の作業所へ依頼	依頼件数:4件 (主な内容) ・広報誌の封入郵送作業

(フューチャーセッション) 実施風景

▲夢発心で開催した様子(第5.6回)



▲名古屋経済大学で開催した様子(第3.4回)



▲R4最終回の様子

(フューチャーアクト) サポート事例

【ありがとうプロジェクト】

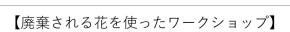
セッションの中で出た「所得に関係なく、誰もがサービスを受けられたり、隠れているスキルを表に出すきっかけになる場があるといい」という意見から、お金ではない、物と物を交換する物々交換市の実現に向け実施。まずははじめの一歩として、子どもを対象にした「ありがとうプロジェクト」を犬山マルシェで開催した。子どもたちは会場内で「感謝してもらえること」を探して実行し、感謝の気持ちの代わりにもらったシールを集めて、フォトフレームなどの作成を行った。





【学生ボランティア向けのオンラインネットワーク】

以前より、ボランティアをしたいと思う学生や若者世代が情報を得ることが難しいと考えていた高校生が、セッションに参加し、大学生に後押しされる形でオンラインネットワーク「つむぐ」を立ち上げた。LINEやInstagramを活用し、ボランティアを募集したい主催者と参加したい学生が双方向に情報交換できるようになっており、ボランティアを募集する側の困りごとにも寄り添えるものになった。令和4年度は3件6名の実績があった。



フューチャーセッション@犬山に参加した名古屋経済大学の学生のアイデアで、SDGsの目標12番「つくる責任 つかう責任」を推進するため、花屋ででるロスフラワーを再利用してスタンプやメッセージカードを作成するワークショップを実施。桃太郎マルシェに出店し、主催であるココトモファームと、扶桑町の花屋の協力を得た。ロスフラワーで作られたドライフラワーは用意した全てが完売し、廃棄予定の花を活かすだけでなく、SDGsの普及の場にもなった。

